

## 中学3年 社会科

# 地方自治と私たち ～よりよい荒尾市にするために～

## 学校教育目標

今，一生懸命  
～郷土を愛し，この瞬間を一途に  
努力する生徒の育成～

## 授業のポイント

「よりよい荒尾市にするためには？」という問いを「荒尾競馬場跡地を有効に活用するには、どの政策を優先すべきか。」と焦点化し、主体的な学びを引き出す。また、政策の優先順位を考えることを通して、多面的・多角的に考察，構想し，表現できる力を育成する。

## 授業の流れ



### 導入

荒尾市の課題や荒尾競馬場跡地の整理事業が行われようとしていることを知り、学習課題を設定する。



### 展開

- ① 学習課題に対する考えを，個人でワークシートにまとめる。
- ② ワークシートにまとめた考えをグループ内で出し合い，三つの政策の優先順位を決める。
- ③ グループの考えを全体に出し合い，荒尾市をよりよくするにはどの政策を優先すべきか話し合う。



### 終末

- ① 話し合ったことを基に学習課題に対する考えをまとめ直す。
- ② 学んだこと等を振り返り，ワークシートに書く。



## 指導項目

C 私たちと政治 (2)民主政治と政治参加  
イ 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて，次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

## 評価について

ワークシートにまとめられた学習課題に対する考えを基に，自分たちの市の課題解決に向けて，多面的・多角的に考察，構想し，表現できるかについて評価する。

## 目指す生徒の姿

- 単元の学習を見通して，主体的に学習に取り組んでいる。
- 単元や本時の学習を振り返り，自身の学びや変容を自覚している。

学校教育目標の実現に必要な教科等横断的な視点に立った資質・能力を，「見通す力」「粘り強く行動する力」「思い合う力」と設定している。この授業では，「見通す力」を高めるため，単元の最初に単元のゴールを設定し，生徒自身が単元のまとまりを見通し，主体的に学習を進めることができるようにしている。また，本時においては，振り返りの時間を充実することで，自身の学びや変容を自覚し，次の学びへの見通しを持つことができるようにしている。